

倉浜衛生施設組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
実施状況（2020年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業により排出された2020年度の温室効果ガス排出量は、67,822,844kg-CO2で、基準年度（2019年度）に比べ、11,144,127kg-CO2排出量は減少しました。

主な減少した要因は、総排出量の96.09%を廃棄物の焼却が占めているため、表2に示すエコトピア池原（熱回収施設）からの排出量の減少が大きいと考えられます。廃棄物焼却の内廃プラスチック焼却量がCO2排出量の大部分を占めており、2020年度の廃プラスチック焼却からの排出量は、63,879,810kg-CO2で、基準年度（2019年度）に比べ、11,493,035kg-CO2減少していることがCO2排出量減少の理由となっております。

表1 基準年度との比較

区分	排出量（単位：kg-CO2）		削減量（削減率）
	基準年度	2020年度	
温室効果ガス	78,966,971	67,822,844	△ 11,144,127 (△ 14.11 %)

2 倉浜衛生施設組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表2 2020年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位：kg-CO2）		
		基準年度 2019年度	2020年度	比較
1	エコトピア池原 (熱回収施設)	78,010,284	66,844,076	△ 11,166,208
2	エコループ池原 (リサイクルセンター)	51,719	52,914	1,195
3	エコボウル池原 (最終処分場)	436,125	430,518	△ 5,607
4	清水苑 (し尿処理施設)	462,731	489,947	27,216
5	管理棟	6,112	5,389	△ 723
	合計	78,966,971	67,822,844	△ 11,144,127

3 要因別温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の96.09%を占め、次いで燃料の使用によるものが2.27%となっています。

表3 2020年度要因別の温室効果ガス排出状況

項目	施設名称	基準年度の活動量(2020年度)						CO ₂ 排出量 [kg-CO ₂]	合計	割合 (%)
		エコトピア 池原	エコループ 池原	エコボウル 倉浜	清水苑	管理棟	計			
燃料の使用	ガソリン[L]	1,256	0	778	2.32	2,202	4,239	9,834	1,537,442	2.27%
	灯油[L]	576,836	0	0	0	0	576,836	1,436,322		
	軽油[L]	4,409	19,706	8,670	900	0	33,685	86,906		
	LPG[m ³]	698	0	0	35	0	733	4,380		
電気の使用[kWh]		279,400	0	500,312	588,438	0	1,368,150	1,108,202	1,108,202	1.63%
自動車の走行	ガソリン[km]	75,547	0	7,847	3,652	31,711	118,757	1,484	1,529	0.00%
	軽油[km]	0	4,608	0	5,213	0	9,821	45		
重機の稼働	軽油[h]	1,947	2,400	0	0	0	4,347	91	2,990	0.00%
	軽油(大型)[h]	0	4,764	2,328	0	0	7,092	2,900		
カーエアコンの使用[台]		2	4	3	2	4	15	215	215	0.00%
廃棄物の焼却[t]		75,883	0	0	0	0	75,883	1,282,158	65,161,968	96.08%
内廃プラスチック焼却量[t]		23,061	0	0	0	0	23,061	63,879,810		
し尿の処理[m ³]		0	0	0	8,167	0	8,167	10,022	10,022	0.01%
CO ₂ 排出量[t-CO ₂]								67,822	67,822	

図1 2020年度要因別の温室効果ガス排出状況

